

## TOOLS for MR V1.5.0 for Windows

---

TOOLS for MR V1.5.0 for Windows は以下のプログラムで構成されています。

- Yamaha Steinberg FW Driver V1.5.0
- Steinberg MR Editor V1.5.0
- Steinberg MR Extension V1.5.0

### 主なアップデートの内容

#### V1.2.0 (32 ビット版) / V1.2.1 (64 ビット版) → V1.5.0

##### Yamaha Steinberg FW Driver

V1.1.0 (32 ビット版) / V1.2.0 (64 ビット版) → V1.5.0

- (Windows Vista) プログラムのパフォーマンスを向上させる「Enable MMCSS」機能を追加しました。Yamaha Steinberg FW Driverのコントロールパネルで、この機能のオン/オフを切り替えます。
- Windows Vista 64ビット版で、4GB以上のメモリーを搭載している場合の入力レイテンシーを改善しました。
- 次の条件のときに、Yamaha Steinberg FW Driverのコントロールパネルで、設定の変更ができなくなる不具合を修正しました。
  1. ホストアプリケーションを使用中、コンピューターが休止状態に入る。
  2. 休止状態から復帰したあと、ホストアプリケーションを終了する。

##### Steinberg MR Editor

V1.2.0 → V1.5.0

- MR EditorのSceneに保存されるパラメーターに、次の4つを追加しました。
  - ・ ソロ
  - ・ Digital I/O, External FX
  - ・ Sweet Spot Morphing Ch. Strip
  - ・ External FX Type

##### Steinberg MR Extension

V1.2.0 → V1.5.0

- Hardware Setup画面が新しくなりました。主な変更点は次のとおりです。
  - ・ 「Master Levels」タブを追加しました。ここでは、アナログ/デジタルそれぞれのマスターレベルをコントロールできます。
  - ・ 「Settings」タブを追加しました。ここでは、デジタルオーディオ信号を入出力する端子を選択したり、Sweet Spot Morphing Channel Strip エフェクトを挿入するチャンネルを選択した

ることができます。

- ・ レベルを調整するパラメーターを、キーボード上の[Ctrl]/[command]キーを押しながらクリックすることで、ノミナル(0.00dB)に設定できるようになりました。
- ・ レベルの表示を「dB」に変更しました。
- Rev-Xの任意のパラメーターを、キーボード上の[Ctrl]/[command]キーを押しながらクリックしたときに、正しい初期値が設定されない不具合を修正しました。
- Cubaseのプロジェクトファイルを開いたときに、プロジェクトファイルに保存されたReverbのパラメーターが正しく復元されないことがある不具合を修正しました。
- Yamaha Steinberg FW Driverのコントロールパネルで、「Sweet Spot Morphing Ch. Strip」を「Digital Input」に設定しているときに、Cubaseのミキサーに表示されるMR816CSX/MR816X入力設定画面の「+48V」/「PAD」インジケーターが正しく表示されない不具合を修正しました。
- Cubaseのプロジェクトファイルを開いたときに、MR816CSX/MR816X入力設定画面の設定が正しく切り替わらないことがある不具合を修正しました。
- 複数のMR816 CSX/MR816 Xを接続したときに、使用できないオーディオポートが表示されることがある不具合を修正しました。
- 複数のMR816 CSX/MR816 Xを接続してRev-Xを使用しているときに、1台の接続を外すともう1台のRev-Xの設定がリセットされることがある不具合を修正しました。
- Sweet Spot Morphing Channel StripをVSTプラグインとして使用しているときに、オートメーションが自動で書き込まれてしまうことがある問題を修正しました。
- MR816CSX/MR816X入力設定画面とSweet Spot Morphing Channel StripやRev-Xなどの画面の間で、各エフェクトのパラメーターの表示値が異なる不具合を修正しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

## 過去のアップデートの内容

### **V1.2.0 → V1.2.1 (64 ビット版のみ)**

#### **Yamaha Steinberg FW Driver**

##### **V1.1.0 → V1.2.0**

- Windows Vista 64ビット版で4GB以上のメモリーを使用している場合にオーディオ信号を正しく受信できない不具合を修正しました。

### **V1.1.0 → V1.2.0**

- Cubase 5 に対応しました。
- Windows Vista 64 ビット版に対応しました。
- Yamaha n8/n12 に対応しました。

その他の主なアップデート内容については、以下にプログラム別で説明します。

### **Yamaha Steinberg FW Driver**

V1.0.1 → V1.1.0

- WDM Audio ドライバーの出力ポートをステレオチャンネルからマルチチャンネル(6 チャンネル)に変更しました。出力チャンネルは、出力ポートの設定で指定したチャンネルからの連続した 6 チャンネルになります。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

### **Steinberg MR Editor**

V1.1.0 → V1.2.0

- Sweet Spot Morphing Channel Stripの設定画面でSweet Spot Dataのファイルが表示されないことがある不具合を修正しました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

### **Steinberg MR Extension**

V1.1.0 → V1.2.0

- Sweet Spot Morphing Channel Strip (以下「Channel Strip」)の設定画面を最小化にしたまま、VSTコネクション画面で入力バスのプリセット設定を読み込むと、Cubaseが異常終了する不具合を修正しました。
- Channel Stripの設定画面のMORPHノブとMR816 CSXの「MORPH」を設定したマルチファンクションエンコーダーノブを同時に操作すると、Cubaseが異常終了することがある不具合を修正しました。
- Channel Stripの設定画面でSweet Spot Dataのファイルが表示されないことがある不具合を修正しました。
- 再生中に「Digital I/O, External FX」の設定を切り替えると音が出なくなることがある不具合を修正しました。
- 「Digital I/O, External FX」の設定を切り替えるとMR816 CSX/MR816 X Hardware Setup画面のヘッドフォン端子1/2のモニターソースの設定がリセットされることがある不具合を修正しました。
- サンプリング周波数または「Digital I/O, External FX」の設定が現在の設定と異なるプロジェクトファイルに切り替えた場合、MR816 CSX/MR816 X入力設定画面が正常に表示されなくなることがある不具合を修正しました。
- プロジェクトファイルを切り替えた場合、MR816 CSX/MR816 Xのヘッドフォン端子1/2から出力される信号として設定されたバスが切り替わらないことがある不具合を修正しました。
- VSTコネクション画面のバスの変更がMR816 CSX/MR816 X Hardware Setup画面のヘッドフォン端子1/2のモニターソースの設定値に反映されないことがある不具合を修正しました。
- VSTコネクション画面で入力バスのプリセット設定を読み込んだ場合、MR816 CSX/MR816 X

入力設定画面が表示されないことがある不具合を修正しました。

- VSTコネクション画面で出力バスを設定してもMR816 CSX/MR816 X Hardware Setup画面のREV-Xのリターンレベルのノブが表示されないことがある不具合を修正しました。
- MR816 CSX/MR816 X Hardware Setup画面上でリバーブタイプを変更できないことがある不具合を修正しました。
- Yamaha MOTIF XSなどのYamaha Steinberg FW Driverに対応した機器とMR816 CSX/MR816 Xをデジチェーン接続した場合、接続する順番によってCubaseとの連携機能が正常に動作しない不具合を修正しました。
- MR816 CSX/MR816 X入力設定画面とREV-X/Channel Stripの設定画面にある同一パラメーターを、ショートカット操作([Ctrl]キーを押しながら該当パラメーターをクリック)によって初期値に設定した場合、設定値が各画面で異なることがある不具合を修正しました。
- ダイレクトモニタリングをオンにしている場合に、トラックのモニタリングボタンをオンにして再生すると、一瞬音が途切れる不具合を修正しました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

## **V1.0.0 → V1.1.0**

### **Yamaha Steinberg FW Driver**

#### **V1.0.0 → V1.0.1**

- Yamaha Steinberg FW Driver をインストールしたコンピューターの動作中に、IEEE1394 インターフェースカードを抜き差しできる仕様に変更しました。コンピューターから IEEE1394 インターフェースカードを取り外すときは、Yamaha Steinberg FW Driver を使用しているアプリケーションをすべて終了し、「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってから取り外してください。
- Yamaha Steinberg FW Driverをインストールしたコンピューターに、IEEE1394 インターフェースカードを新規にインストールした直後に、その IEEE1394 インターフェースカードに対して Yamaha Steinberg FW Driver の Bus ドライバーがインストールされず、接続した Yamaha Steinberg FW Driver 対応機器が認識されない不具合を修正しました。

### **Steinberg MR Editor**

#### **V1.0.0 → V1.1.0**

- Channel Strip の Morph パラメーターと Sweet Spot Data が VST プリセットデータとして保存される仕様に変更しました。
- ヘッドフォン端子から出力される信号としていずれかの出力信号が常に割り当てられている仕様に変更しました。
- REV-X のスライダーにマウスポインターを合わせると、パラメーター値が表示される仕様に変更しました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

## **Steinberg MR Extension**

V1.0.0 → V1.1.0

- Cubase との連携機能を追加しました。

# 詳しくは、ダウンロードしたファイルに収録されている MR816 CSX/MR816 X オペレーションマニュアル (PDF)をご参照ください。